

デザイン部会

# 新・デザイン部会の活動について

デザイン部会長 連 健夫



前デザイン部会長の太野氏から今年度の部会長をしてくれないかと頼まれた時、私は正直躊躇しました。それは、以前、JIAのある委員会の委員をしていた時に、保守的な運営に幻滅を感じ、辞退させていただいた経験があったからです。それを氏に話したところ、デザイン部会は柔軟な組織で参加もオープン、内容も自由と聞きしました。そのことは私自身の昨年からの参加経験でも理解をしているところでした。

そこで、これを受諾し、ここにご挨拶をさせて頂くと共に、その自由で開かれた部会をより活性化し、創造的なものにするべく、今年の新デザイン部会の基本方針を掲げさせて頂きました。それは、

- ① 様々な分野・様々な世代の参加と交流が得られるような会話・ディスカッションのある活動を行なう。
- ② デザイン部会の基本に立ち戻り、デザインの本質を探究するような新鮮な活動を行なう。
- ③ 会員の意見に耳を傾け、参加会員のメリットになるような魅力的な活動を行なう。

そして、今年の活動に当たって部会長のわがままとして、年間テーマ「建築とプロセス」を掲げさせて頂きました。これは年間テーマをあげることによって議論が深まり今後の蓄積になる狙いからです。このテーマは、建築の今後を見定める上で大切なキーワードであると思います。デザインの評価軸において、従来の美的、機能的、空間主義的な尺度だけでは捉えられない多様な価値観が生まれてきており、デザインの意味、建築の意味自体を問い直す視点が重要になってきていると考えます。そこで、結果のデザインだけではなく、それが生まれるきっかけ、手法などと関係付けることにより、そのプロセス・意味を理解することができるのではないか、また建築後にどのように使われているかというような、時間軸を意識した視点です。このプロセスという時間軸の視点は、サステナブルデザイン、建築保存と現代化、コーポラティブハウス、街づくり、手作り工業化、計画学の

役割の変化など、様々な大切でホットな話題を包括するのではないかと思います。このように言うことや堅苦しく、肩肘ばった感じがしますが、要は、建築に対して、より幅広い観点で柔軟に考えていこうと言うことです。これはデザイン部会の従来からの楽しく自由な姿勢に準じるものと考え、また、このことが従来からの参加者に飽きられず、加えて新たな参加者を引き出すのではないかと思います。

その具体的活動は、毎月第四火曜日（すみません私の都合で曜日を变えさせて頂きました）の18:30～21:00、例会での講演を中心に見学会、アーキテクツガーデン、海外建築の旅などです。この例会は、講師の一方向的な講義ではなく参加者とのディスカッションがあるフォーラムのようなものです。参加費は原則1000円、オープンで会員外からの参加も歓迎しますが、これを機会に部会員になって頂ければ幸いです。JIA関東支部事務局の井上さんに「部会員になりたい」とさえ伝えていただければ、それでOKです。毎回の案内・情報がFaxで送られることになっています。是非、若い人を含めた様々な世代の参加を望みます。参加する人が楽しむことができ、メリットになるような創造的な場にしたいと思っています。

さて4月の手始めは、25日(火)18:30～、「AAスクールでのワークと今のワーク」という内容で、恐縮ながらイギリスで学生・教師・建築家として過ごした私自身の経験と現在の活動をスライドを交えて話をさせて頂く予定です。ディスカッションの口火になればと思います。是非、ご参加ください。<(有)連健夫建築研究室 主宰>